

(54) Title of Invention: Magnet File

(57) Abstract

Purpose: To provide a magnet file that not only organizes and stores items such as cooking recipes, CDs, calendars, clippings, receipts, memos, etc., but can be attached magnetically to a nearby magnetic surface such as refrigerator, cabinet, etc., and moreover, a desired stored item can be selected from multiple stored items for viewing and removal without removing the magnet file from the attached surface.

Method:

In a file 1 comprised of covers 2 and 3 which are folded in two, and one or more storage component 4 formed so that one side is positioned in the folded portion of aforesaid covers, magnets 5 and 6 are each situated respectively on the front edge portion of the covers that when folded in two, face each other, and can magnetically attach or detach from each other while aforesaid storage component 4 is situated between them, and in addition when covers 2 and 3 are open, the aforesaid magnets 5 and 6 which are situated on the front edge portion of the covers that face each other can each independently attach or detach to another magnetic body, and further, when the magnets are attached to each other with the storage component between them, one or the other of the magnets can attach or detach to another magnetic body.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号  
実用新案登録第3079996号  
(U3079996)

(45) 発行日 平成13年9月7日(2001.9.7)

(24) 登録日 平成13年6月20日(2001.6.20)

(51) Int.Cl.  
B 4 2 F 7/00

識別記号

F I  
B 4 2 F 7/00

B

評価書の請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 実願2001-1056(U2001-1056)

(22) 出願日 平成13年3月2日(2001.3.2)

(73) 実用新案権者 000137339

株式会社マグエックス

東京都中央区東日本橋1丁目9番13号

(72) 考案者 中村 千鶴

東京都中央区東日本橋1-9-13 株式会  
社マグエックス内

(74) 代理人 100071320

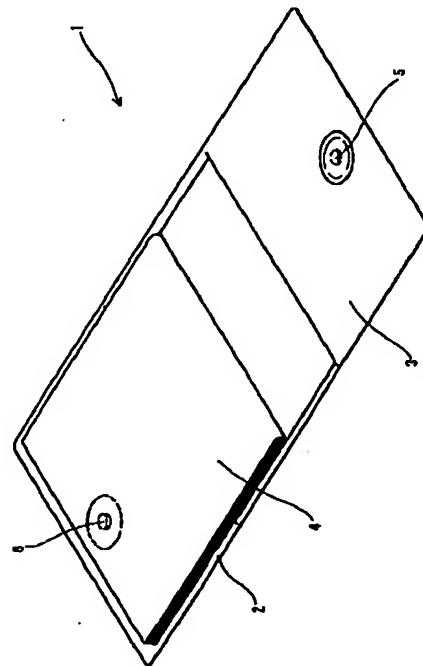
弁理士 田辺 敏郎

(54) 【考案の名称】 マグネットファイル

(57) 【要約】

【課題】 料理レシピ、CD、カレンダー、各種切り抜き、領収書、メモ等をコンパクトに整理収納することができることは勿論のこと、これを手近な冷蔵庫、キャビネット等の磁性面に磁着したまま使用することができ、しかも複数の収納物から所望する収納物のみを磁着したままの状態で取出し視認することができるマグネットファイルを提供することを目的とする。

【解決手段】 二つ折り状のカバー体2、3、該カバー体内の折り返し部に一側部を位置せしめてなる1枚若しくは複数枚の収納体4からなるファイル1において、前記二つ折り状のカバー体における折り返し時相対向する先端部分にはそれぞれ磁石5、6を配設し、前記収納体4を介在した状態で互いに磁着自在であり、また二つ折り状のカバー体2、3を開いた状態にあっては前記相対向する先端部分の磁石5、6がそれぞれ磁性体に磁着自在であり、さらには収納体を介在して磁着した状態にあっては何れか一方の磁石が磁性体に磁着自在とする。



1

## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 二つ折り状のカバー体、該カバー体内の折り返し部に一側部を位置せしめてなる1枚若しくは複数枚の収納体からなるファイルにおいて、前記二つ折り状のカバー体における折り返し時相対向する先端部分にはそれぞれ磁石を配設し、前記収納体を介在した状態で互いに磁着自在であり、また二つ折り状のカバー体を開いた状態にあっては前記相対向する先端部分の磁石がそれぞれ磁性体に磁着自在であり、さらには収納体を介在して磁着した状態にあっては何れか一方の磁石が磁性体に磁着自在としたことを特徴とするマグネットファイル。

【請求項2】 二つ折り状のカバー体、該カバー体内の折り返し部に一側部を位置せしめてなる1枚若しくは複数枚の収納体からなるファイルにおいて、前記二つ折り状のカバー体における折り返し時相対向する先端部分にはそれぞれ磁石を配設し、前記収納体を介在した状態で互いに磁着自在とするとともに、前記二つ折り状のカバー体の一方のカバー体先端縁には折り返し自在の係止体を突設しこの係止体先端部に磁性体を配設し、前記二つ折り状のカバー体の他方のカバー体の先端部に配設された磁石にこの係止体先端部の磁性体を折り返し磁着することにより、前記カバー体の一方のカバー体外面を磁性面に磁着自在の状態でも二つ折り状のカバー体を収納体を挟持したままさらに確実に一体化し、さらには前記二つ折り状のカバー体の他方のカバー体を開放状態としこの他方のカバー体外面を磁性面に磁着し前記係止体先端部の磁性体を前記二つ折り状のカバー体の一方のカバー体先端部に配設された磁石と収納体を介在したまま折り返し磁着することにより、前記二つ折り状のカバー体の一方のカバー体外面を磁性面に磁着したまま挟持されてなる所望の収納体を一枚毎に捲り自在としたことを特徴とするマグネットファイル。

【請求項3】 二つ折り状のカバー体、該カバー体内の折り返し部に一側部を位置せしめてなる1枚若しくは複数枚の収納体からなるファイルにおいて、前記二つ折り状のカバー体における折り返し時相対向する先端部分にはそれぞれ磁石を配設し、前記収納体を介在した状態で互いに磁着自在とするとともに、前記二つ折り状のカバー体の一方のカバー体先端縁には折り返し自在の係止体を突設しこの係止体先端部に磁石を配設し、前記二つ折り状のカバー体の他方のカバー体の先端部に配設された磁石にこの係止体先端部の磁石を折り返し磁着することにより、前記カバー体の一方のカバー体外面を磁性面に磁着自在の状態でも二つ折り状のカバー体を収納体を挟持したままさらに確実に一体化し、さらには前記二つ折り状のカバー体の他方のカバー体を開放状態とし、この他方のカバー体外面を磁性面に磁着し前記係止体先端部の磁石を前記二つ折り状のカバー体の一方のカバー体先端部に配設された磁石と収納体を介在したまま折り

2

返し磁着することにより、前記二つ折り状のカバー体の一方のカバー体外面を磁性面に磁着したまま挟持されてなる所望の収納体を一枚毎に捲り自在としたことを特徴とするマグネットファイル。

【請求項4】 収納体は料理レシピ、CD、カレンダー、新聞・雑誌の切り抜き、ワインラベル、領収書、メモ等の収納物を出し入れ自在の透明若しくは半透明の袋体としたことを特徴とする請求項1、請求項2、請求項3記載のマグネットファイル。

10 【請求項5】 磁石は両面磁石としたことを特徴とする請求項1、請求項2、請求項3記載のマグネットファイル。

【請求項6】 カバー体、収納体、係止体は合成樹脂製シートにより形成され、磁石若しくは二つ折り状のカバー体の一方のカバー体先端縁に突設された折り返し自在の係止体先端部に配設された磁性体はウェルダー加工で全体を合成樹脂製シートに被覆されてなることを特徴とする請求項1、請求項2、請求項3記載のマグネットファイル。

20 【請求項7】 収納体は一側部を二つ折り状のカバー体内の折り返し部に結合したことを特徴とする請求項1、請求項2、請求項3記載のマグネットファイル。

【請求項8】 二つ折り状のカバー体先端部に配設された磁石若しくは磁性体は収納体の他側部を挟持した状態にて磁着することを特徴とする請求項2、請求項3記載のマグネットファイル。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本考案のマグネットファイルの一実施例を示す斜視図である。

30 【図2】図1に示すマグネットファイルの使用状態を示す斜視図である。

【図3】本考案のマグネットファイルの他の実施例を示す斜視図である。

【図4】図3に示す本考案のマグネットファイルのA-A線断面図である。

【図5】図3に示すマグネットファイルの使用状態を示す斜視図である。

【図6】図3に示すマグネットファイルの冷蔵庫磁着状態を示す概略正面図である。

40 【図7】図3に示すマグネットファイルの冷蔵庫磁着状態を示す概略断面図である。

## 【符号の説明】

- 1 マグネットファイル
- 2 カバー体
- 3 カバー体
- 4 収納体
- 5 磁石
- 6 磁石
- 7 冷蔵庫等の磁性体
- 50 8 係止体

(3)

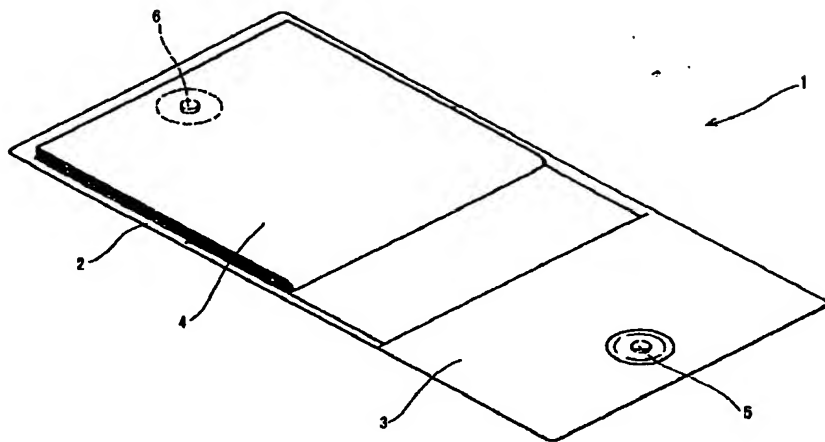
実登3079996

9 磁石  
9a 磁性体

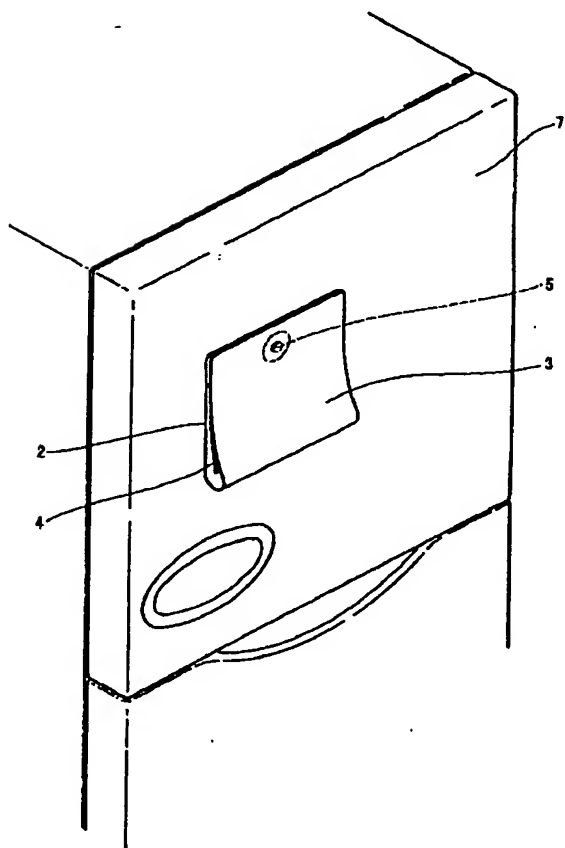
\* 10 収納物

\*

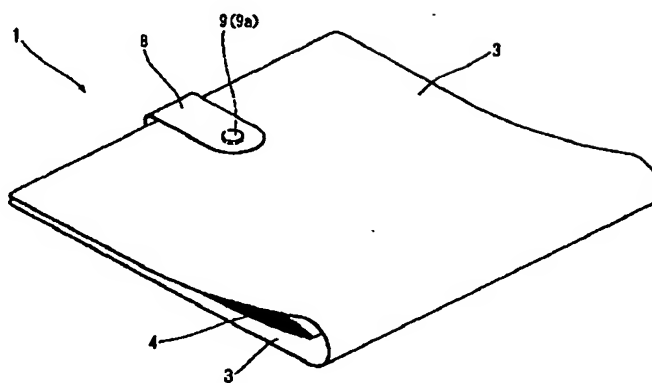
【図1】



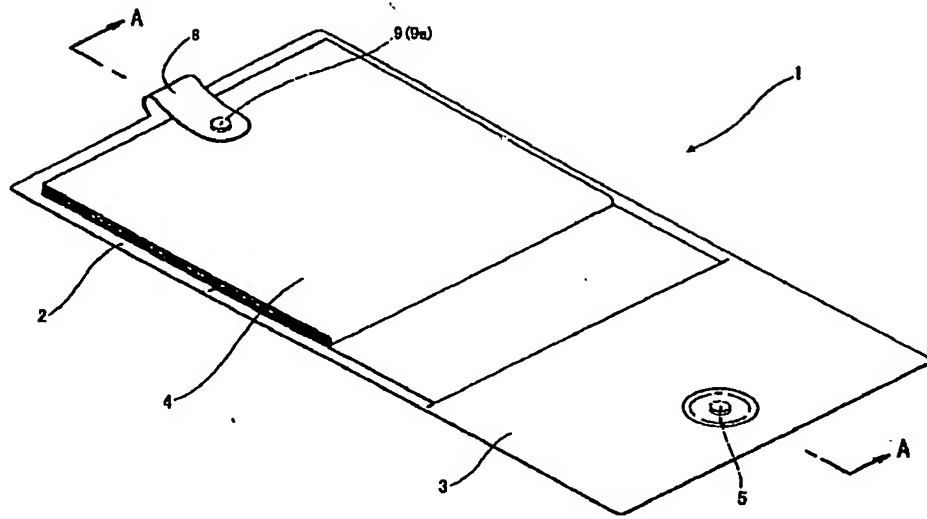
【図2】



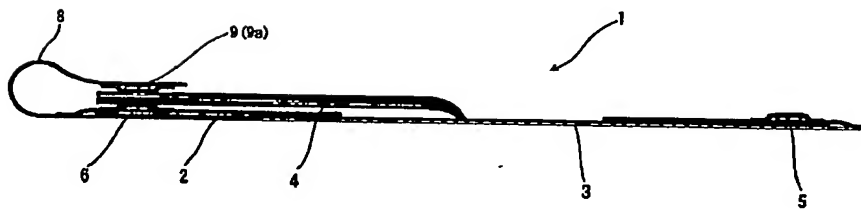
【図5】



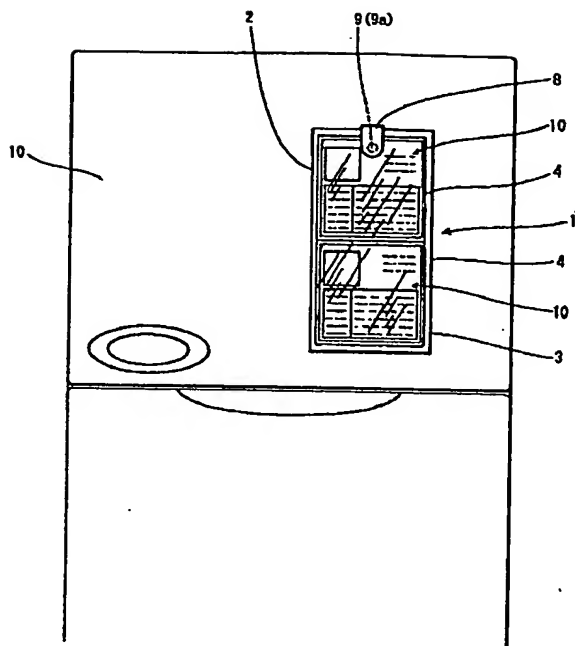
【図3】



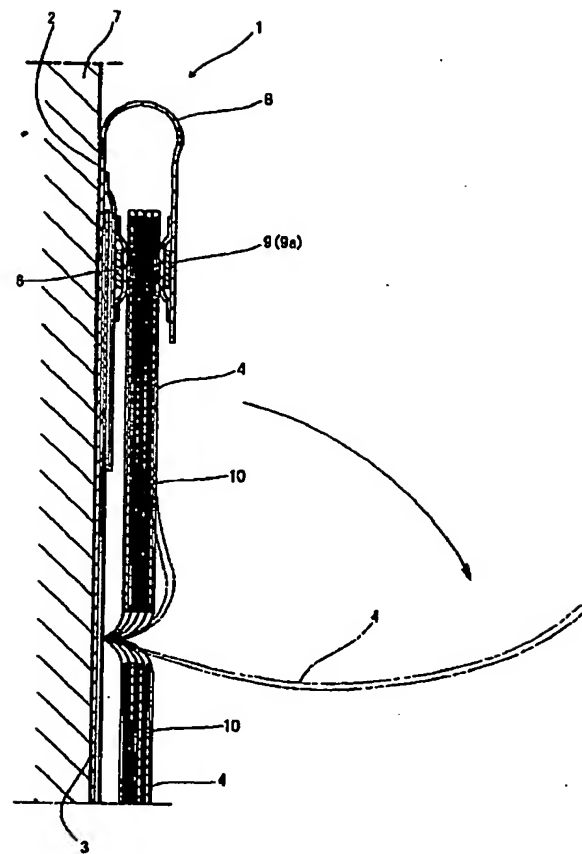
【図4】



【図6】



【図7】



## 【考案の詳細な説明】

## 【0001】

## 【考案の属する技術分野】

本考案は料理レシピ、CD、カレンダー、新聞・雑誌の切り抜き、ワインラベル、領収書、メモ等の各種収納物を整然と整理収納するとともに、台所の冷蔵庫、キャビネット等手近なところに存在する磁性体に磁着した状態で収納物、例えばレシピ、カレンダー等の表示体より所望のものを取出し視認使用することも可能なマグネットファイルに関する。

## 【0002】

## 【従来技術】

磁石を利用した事務用ファイルは多く存在するが、収納物をコンパクトに整然と整理収納することができることは勿論のこと、台所における冷蔵庫、キャビネット等の手近なところに存在する磁性面に磁着したまま使用することができ、さらには収納されてなる複数の収納物中、見たい収納物を容易に取出し使用することができ、不使用時にはコンパクトな状態で磁性面に磁着したまま保管することのできるマグネットファイルは皆無である。

たとえば新聞や雑誌の料理レシピもきちんとした状態でファイリングしておかないといつしか無くしてしまったり、廃棄してしまいがちである。

仮に料理時にこれを取り出し使用しようとしても、レシピが汚れてしまうことは勿論のこと、その都度手に持ち確認しなければならない等の手間も伴う。

また新聞や雑誌の切り抜き、レシート、領収書類等にあっても、これをその都度見やすい状態でしかも手軽にいつも取出し自在の手近な個所に整理保管することは困難であった。

## 【0003】

## 【考案が解決しようとする課題】

本考案にあつては料理レシピ、CD、カレンダー、各種切り抜き、領収書、メモ等をコンパクトに整理収納することができることは勿論のこと、これを手近な冷蔵庫、キャビネット等の磁性面に磁着したまま使用することができ、さらには複数の収納物から所望する収納物のみを磁着したままの状態で取出し視認するこ

とができるマグネットファイルを提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本考案のマグネットファイルは、二つ折り状のカバー体、該カバー体内の折り返し部に一側部を位置せしめてなる1枚若しくは複数枚の収納体からなるファイルにおいて、前記二つ折り状のカバー体における折り返し時相対向する先端部分にはそれぞれ磁石を配設し、前記収納体を介在した状態で互いに磁着自在であり、また二つ折り状のカバー体を開いた状態にあつては前記相対向する先端部分の磁石がそれぞれ磁性体に磁着自在であり、さらには収納体を介在して磁着した状態にあつては何れか一方の磁石が磁性体に磁着自在としたことを特徴とするものである。

【0005】

さらに本考案は、二つ折り状のカバー体、該カバー体内の折り返し部に一側部を位置せしめてなる1枚若しくは複数枚の収納体からなるファイルにおいて、前記二つ折り状のカバー体における折り返し時相対向する先端部分にはそれぞれ磁石を配設し、前記収納体を介在した状態で互いに磁着自在とするとともに、前記二つ折り状のカバー体の一方のカバー体先端縁には折り返し自在の係止体を突設しこの係止体先端部に磁性体を配設し、前記二つ折り状のカバー体の他方のカバー体の先端部に配設された磁石にこの係止体先端部の磁性体を折り返し磁着することにより、前記カバー体の一方のカバー体外面を磁性面に磁着自在の状態でも二つ折り状のカバー体を収納体を挟持したままさらに確実に一体化し、さらには前記二つ折り状のカバー体の他方のカバー体を開放状態としこの他方のカバー体外面を磁性面に磁着し前記係止体先端部の磁性体を前記二つ折り状のカバー体の一方のカバー体先端部に配設された磁石と収納体を介在したまま折り返し磁着することにより、前記二つ折り状のカバー体の一方のカバー体外面を磁性面に磁着したまま挟持されてなる所望の収納体を一枚毎に捲り自在としたことを特徴とするものである。

【0006】

さらにまた本考案は、二つ折り状のカバー体、該カバー体内の折り返し部に一



側部を位置せしめてなる1枚若しくは複数枚の収納体からなるファイルにおいて、前記二つ折り状のカバー体における折り返し時相対向する先端部分にはそれぞれ磁石を配設し、前記収納体を介在した状態で互いに磁着自在とするとともに、前記二つ折り状のカバー体の一方のカバー体先端縁には折り返し自在の係止体を突設しこの係止体先端部に磁石を配設し、前記二つ折り状のカバー体の他方のカバー体の先端部に配設された磁石にこの係止体先端部の磁石を折り返し磁着することにより、前記カバー体の一方のカバー体外面を磁性面に磁着自在の状態でも二つ折り状のカバー体を収納体を挟持したままさらに確実に一体化し、さらには前記二つ折り状のカバー体の他方のカバー体を開放状態とし、この他方のカバー体外面を磁性面に磁着し前記係止体先端部の磁石を前記二つ折り状のカバー体の一方のカバー体先端部に配設された磁石と収納体を介在したまま折り返し磁着することにより、前記二つ折り状のカバー体の一方のカバー体外面を磁性面に磁着したまま挟持されてなる所望の収納体を一枚毎に捲り自在としたことを特徴とするものである。

【0007】

また、収納体は料理レシピ、CD、カレンダー、新聞・雑誌の切り抜き、ウィラベル、領収書、メモ等の収納物を出し入れ自在の透明若しくは半透明の袋体としたことを特徴とするものである。

【0008】

また、磁石は両面磁石としたことを特徴とするものである。

【0009】

また、カバー体、収納体、係止体は合成樹脂製シートにより形成され、磁石若しくは二つ折り状のカバー体の一方のカバー体先端縁に突設された折り返し自在の係止体先端部に配設された磁性体はウェルダー加工で全体を合成樹脂製シートに被覆されてなることを特徴とするものである。

【0010】

また、収納体は一側部を二つ折り状のカバー体内の折り返し部に結合したことを特徴とするものである。

【0011】

また、二つ折り状のカバー体先端部に配設された磁石若しくは磁性体は収納体の他側部を挟持した状態にて磁着することを特徴とするものである。

【0012】

【考案の実施の形態】

図1は本考案のマグネットファイルの一実施例を示し、マグネットファイル1は、二つ折り状のカバー体2、3及びカバー体2、3内の折り返し部に一側部を結合してなる複数枚の収納体4よりなる。収納体4の結合に際してはウェルダ加工等の方法によりカバー体2、3と一体化される。尚、収納体4の一側部はカバー体2、3内の折り返し部に必ずしも結合されることを要さず、カバー体2、3間に介在自在の状態であってもよい。

さらに、二つ折り状のカバー体2、3の先端部には二つ折りされ相対向した際に磁着可能な磁石5、6が配設されている。

【0013】

そして図2に示すように各種収納物を収納してなる収納体4の他側部を介在した状態で磁石5、6は磁着され、マグネットファイル1は収納物が脱落、破損したりすることなくカバー体2、3に被覆保護されたコンパクトな状態とすることができる。

【0014】

そして、このままの状態では磁石5、6の何れか一方を冷蔵庫等の磁性体7に磁着することもでき、料理レシピ、領収書、メモ等を手近な個所に整然と整理保管することができる。またカバー体2、3を開いた状態にて磁石5、6をそれぞれ冷蔵庫等の磁性体7に磁着させ露呈状態の収納体4に対し所要の収納物を収納し整理、保管することも可能である。

【0015】

図3、図4、図5、図6、図7は本考案の他の実施例を示す。

図3、図4、図5において、8は一方のカバー体2の先端縁に突設された折り返し自在の係止体であり、この係止体8の先端部には磁石9が配設されている。尚、他の構成部材は第1の実施例と同一構成に係る。

また前記収納体4も第1の実施例と同様に透明若しくは半透明の合成樹脂製袋

体からなり、収納物10としては料理レシピ、CD、カレンダー、新聞・雑誌の切り抜き、ワインラベル、領収書、メモ等であり収納体4に出し入れ自在に収納されている。

さらに三つの磁石5, 6, 8は両面磁石が使用されるとともに、磁石5, 6, 8はウェルダー加工で全体を合成樹脂製シートに被覆保護された状態となっており、外面に直接露呈することが無いことから脱落したり破損するおそれはない。

#### 【0016】

次にこの実施例におけるマグネットファイルの使用方法につき述べる。

図5に示すように保管時にあつては収納物4を介在挟持した状態にて二つ折り状カバー体2, 3先端部の磁石5, 6を磁着させ、次に係止体8を折り返し、カバー体3の上面より係止体8の磁石9とカバー3の磁石5を磁着すれば収納物4はカバー体2, 3により抜け出し、脱落を防止され保護されるとともに係止体8によりさらに确实強固にコンパクトな状態で整理・保管することができる。

この状態でカバー体2の磁石6を冷蔵庫、キャビネット等の磁性面に磁着させておくことも可能であるし、他の場所に整理、保管することができることは勿論のこと、このコンパクトな状態で携行することもできる。

#### 【0017】

図6, 図7は本考案のマグネットファイル1を冷蔵庫等の磁性体7に磁着して使用する状態を示している。

すなわちマグネットファイル1は冷蔵庫等の磁性体7に磁着され、たとえば調理に際し台所で磁着されたマグネットファイル1の収納体4内に収納されている料理レシピ等の収納物10を見ながら調理することができる。

これを図7に基づき説明すれば、料理レシピ等の収納物10を複数枚収納してなる収納体4はその自由端部分をカバー体2の磁石6と係止体8の磁石9に挟持されるとともに所望の収納物10を収納した収納体4の捲りあるいは視認に際しては係止体8の磁石9を開放し手指にて所望の収納体4を捲り再び磁石9を磁着することもできるが、このようなわずらわしい手作業を要さずとも、所望の収納体4を下方に引くことによりこの収納体4のみが磁石6と磁石9の挟持状態から開放され下方に翻転するとともに、他の複数の収納体4は磁石6と磁石9に整然

と挟持されている。このような理想的な収納体4 翻転状態を得るためには、あらかじめこれに適した磁力を有する磁石が配設される。

【0018】

また第3の実施例は係止体8の磁石9を磁石によらず磁性体9aとした場合であり、この場合にあっては係止体8の磁性体9aはカバー体3の磁石5及びカバー体2の磁石6とも磁着することができることから、図5に示すと同様に保管時にあっては収納物4を介在挟持した状態にて二つ折り状カバー2, 3先端部の磁石5, 6を磁着させ、次ぎに係止体8を折り返しカバー体3の上面より係止体8の磁性体9aとカバー3の磁石5を磁着すれば収納物4はカバー体2, 3により抜け出し、脱落を防止され保護されるとともに係止体8によりさらに确实強固にコンパクトな状態で整理・保管することができる。

この状態でカバー2の磁石6を冷蔵庫、キャビネット等の磁性面に磁着させておくことも可能であるし、他の場所に整理、保管することができることは勿論のこと、このコンパクトな状態で携行することもできる。

【0019】

また図7に示す状態と同様に、料理レシピ等の収納物10を複数枚収納してなる収納体4はその自由端部分をカバー体2の磁石6と係止体8の磁性体9aに挟持されるとともに所望の収納物10を収納した収納体4の捲りあるいは視認に際しては係止体8の磁性体9aを開放し手指にて所望の収納物10が収納されている収納体4を捲り再び磁性体9aを磁着することもできるが、このようなわずらわしい手作業を要さずとも、所望の収納体4を下方に引くことによりこの収納体4のみが磁石6と磁性体9aの挟持状態から開放され下方に翻転するとともに、他の複数の収納体4は磁石6と磁石9aに整然と挟持されている。

【0020】

【考案の効果】

以上詳述した如く、本考案のマグネットファイルによれば、料理レシピ、CD、カレンダー、新聞・雑誌の切り抜き、領収書、メモ等の各種収納物を抜け出し脱落したり、破損したりすることなく整然とコンパクトに整理・保管することができることは勿論のこと、マグネットファイルそのものを磁着性を有する冷蔵庫

等手近な個所に磁着使用することもできることから、例えば冷蔵庫に磁着された所望の料理レシピ部分を見ながら調理することも可能であるし、収納物がカレンダーである場合には、これを冷蔵庫あるいはキャビネット等に磁着させ該当月部分その都度翻転表示することも可能である。

【0021】

また領収書、メモ等手近なところに収納、整理しておきたいものにあっても、常時冷蔵庫等に磁着されているファイルであれば、その都度引き出し等からファイルを取り出しこれ等を収納しその後また収納する等の労苦を要さずとも、またクリップ等の係止具にまとめて挟む等の乱雑で最終的には整理しなければならないという不効率な保管手段によらずとも家庭内の手近な個所に好適な状態にてコンパクトに整理、保管することも可能である。